

令和元年度 第3回部門長会議 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 令和2年3月19日(木)～3月26日(木)

場所 ギガファイル便にて資料ダウンロード(DL)参照

送信宛 渡邊・森・今吉・日高・林・森本・武藤・山本・石田・近藤・関・棚橋
後藤考司・後藤雪乃・浅野敦(会長)

記録 関敏秀


議題 ※資料参照、以下目次

1. 学術部長通知、副会長 理事会報告
2. 岐阜県臨床検査技師会会誌 について
3. 新人サポート研修会 企画書・予算書 提出
4. 各部門からの次年度活動報告 2020 学術計画案
5. 定時総会 について 2020 年度 岐臨技 予算案
6. 講師料謝礼等について 理事会報告
- 7 その他
 - ・ 会長 より
 - ・ 学術部門員候補者届出書(都道府県推薦)
 - ・ 支部学術部長 部門長候補者届出書(支部長推薦)
 - ・ 支部シンポジウムの案内・依頼について

※議題1～7について全員了承済。

以上

署名人 _____ 渡邊 宜典 

署名人 _____ 森 さゆり 

署名人 _____ 近藤 眞一 

令和元年度・第3回 部門長会議

議題

1. 学術部長通知、副会長理事会報告 ※添付ファイルあり
2. 岐阜県臨床検査技師会会誌について P2
3. 新人サポート研修会 企画書・予算書 提出 P3-6
4. 各部門からの次年度活動報告（2020 学術計画案） P7-9
5. 定時総会について（2020 年度 岐臨技 予算案） P10
※添付ファイルあり
6. 講師料謝礼等について（理事会報告） P11-14
7. その他・会長より
 - ・学術部門員候補者届出書（都道府県推薦） P15
※添付ファイルあり
 - ・支部学術部長 部門長候補者届出書（支部長推薦） P16-17
※添付ファイルあり
 - ・支部シンポジウムの案内・依頼について P18-21

次回開催

令和2年7月頃

部門長各位

令和2年3月18日
会長 浅野 敦
副会長 森 さゆり
学術部長 渡邊 宜典

令和元年度第3回部門長会議中止のお知らせ

平素より大変お世話になっております。また日頃の学術活動大変お疲れ様です。
さて、見出しの件についてお知らせ致します。新型コロナウイルス関連事象に伴い、部門長を含めた役員での協議の結果、本会議の中止決定を致しました。内容については理事会での決定事項など連絡会議となり得ることも含めて、今回は添付資料の配布・閲覧を以て会議の代わりとさせていただきます。何卒ご理解の上、よろしくお申し上げます。
また、喫緊の連絡事項として、下記のとおり記載致します。担当される部門長を含め、関わる先生方への周知をお願い致します。

① 新人サポート研修会 5月24日（日）東海学院大学にて開催

※資料作成期日4月30日とします。HPアップのため、作成後、棚橋学術部員まで送付下さい。

（棚橋アドレス；masatomo-t@outlook.com⇒5/4 現在 masa.ksy@outlook.jp 使用）

② 春季拡大研修会 6月7日（日）場所未定 担当西濃地区

※検査総合部門、生物化学部門担当ですので、西濃地区担当理事と企画等をお願い致します。担当理事の連絡先は後日メール致します。

その他お問い合わせは、渡邊までご一報下さい。早急に対処致します。

以上

部門長各位

① 講師料等について

中部圏6県の講師料等の規定を元に作成したものを理事会で承認されました。
次年度より講師料・実務員等の研修会予算の際に参考としてください。

② 学術部門収支比較について

今年度の学術部門研修の予算・決算・講師費用等を比較しました。
部員交通費・日当・消耗品・中部圏開催行事は含んでいません。
次年度の企画に活かしてもらえればと思います。

① の講師料等のルールにて次年度からは部門格差は軽減されるとおもわれます。
また、次年度予算からも各研修会に参加される会員に均等に技師会費が使用されると思われ
れます。

③ 理事会より

将来的な岐阜県臨床検査技師会会費（全国で一番高い会費）の削減へ向けて
学術部門は技師会活動として主要重要な活動で、各部門長・部門員が会員に向けて多くの企
画をされていることは引き続き継続をお願いします。
しかし、できるだけ経費節減にご理解とご協力をお願いします。
具体的には、テキストのホームページPDF配布・ネット印刷
テキスト印刷数の削減：自宅会員や不参加会員へはホームページPDF配布
垂れ幕・横断幕などの削減
共同企画や開催のお知らせなどで参加人数増加にて日臨技助成金の増額など
軽減できることから少しずつ導入・切り替えを考慮して頂けますよう部門で検討をお願い
します。

副会長 森さゆり

議題 2)

岐阜県臨床検査技師会会誌について

今年度の投稿依頼は、岐阜県総合医療センター 大西先生「当院における過去 10 年間の抗酸菌検査についての多角的検討」、朝日大学 棚橋先生「投稿論文フルオロキノロン耐性大腸菌におけるキノロン系薬剤使用量と耐性菌分離率との統計学的検討」の 2 題でありました。

しかし、棚橋先生の投稿は、依頼を受理した際に事務的な不備が生じてしまい、来年度の論文掲載となりました。

この件につきましては、岐臨技会長の元、現在対応中です。(2020/03/12)

結果としまして、今年度は臨床微生物の 1 題のみとなりました。発行は 3 月の定期便です。

学術部員 関敏秀

以上

議題 3)

新人サポート研修会 企画書・予算書について

本企画書・予算書は、2/14の理事会にて承認を頂いております。講演の順番につきましては、臨床生理部門より、午前中のご希望がございましたので、臨床総合部門の武藤先生より調整いただきました。

タイトル、講師名については、新人サポート担当者もしくは部門長となっております。タイトル・講師ともに確定次第ご連絡ください。4月中には岐臨技HPに掲載したいと考えております。

ランチョンセミナーを2社募集中です。どこか推薦メーカーがございましたらご連絡 関まで宜しくお願い致します。コロナ影響でなかなか見つからないところです。

今月中には、研修会のタイムスケジュール等作成後、講師委嘱状等の準備にとりかかりたいと思いますので、ご協力のほどお願い致します。

また、今年度は、会終了後、宮島会長の情勢報告会が企画されております。可能な範囲で会員の呼びかけをお願いします。

学術部員 関敏秀

以上

議題 3)

令和2年度 新人サポート研修会
企画書(案)

日時：令和2年5月24日(日)

会場：東海学院大学 131教室 PC プロジェクター使用可

参加予定人数 100人(技師会会員70名うち新人会員は40名、学生30名)

目的：①新年度の臨床衛生検査技師として働く新社会人に対し、実践に役立つ最新の知識と技術を講演する。

②新社会人ではないが、他部門の技術習得、部門移動による技術習得など、年齢経験を問わず、スキルアップ講習会としても期待できる研修会とする。

③学生の参加も推進する。

対象者：岐阜県臨床検査技師会員または会員申請中。学生。

1. 実行委員(当日運営) 8名(予定)

渡邊宜典 (岐北厚生病院)	関敏秀 (揖斐厚生病院)
近藤真一 (平野総合病院)	棚橋正智 (西美濃厚生病院)
浅野敦 (大垣市民病院)	森さゆり (岐阜清流病院)
山本初津恵 (東海学院大学)	実務委員⑧ (東海学院大学)

2. 企画内容 プログラム(案)

9:00 受付

9:25 開催挨拶(岐臨技 会長) ※事務局からのお知らせ

9:30~10:00 臨床生理部門 「これだけは知っておきたい、心電図検査の基礎知識」
講師 岐阜県総合医療センター 小路達也 技師

10:00~10:30 生物化学分析部門 「生化学免疫検査の基礎」
講師 岐阜大学医学部附属病院 石田秀和 技師

10:00~10:40 休憩

10:40~11:10 臨床血液部門 「血液検査の考え方~それは本当に正しい値?~」
講師 岐阜県立多治見病院 山本将毅 技師

11:00~11:40 臨床一般部門 「一般検査の基礎」
講師 岐阜市民病院 野村貴丙 技師

11:40~11:50 質問タイム

11：50～12：00 休憩

12：00～13：00 <ランチョンセミナー>

①●●株式会社 「◆◆について」

講師 ★★ □ □ 先生

②●●株式会社 「◆◆について」

講師 ★★ □ □ 先生

13：00～13：10 休憩

13：10～13：40 臨床検査総合部門 「採血について」

講師 岐阜赤十字病院 武藤次郎 技師

13：40～14：10 臨床微生物部門 「微生物検査について」

講師 岐阜県総合医療センター 後藤雪乃 技師

14：10～14：20 休憩

14：20～14：50 輸血・細胞治療部門 「輸血検査の基礎」

講師 松波総合病院 森本剛史 技師

14：50～15：20 病理細胞部門 「知ってほしい病理検査の基礎知識」

講師 木沢記念病院 酒向捺希 技師

15：20～15：30 質問タイム・閉会の挨拶（岐臨技 副会長）・休憩

15：30～16：30 （一社）日本臨床衛生検査技師会 宮島善文会長 情勢報告会

以上

令和2年度 新人サポート研修会 予算書

開催日：令和2年5月24日(日)

開催場所：東海学院大学 131教室

担当 学術部

収入の部		支出の部				
研修会等参加費	70名分	¥70,000	印刷製本費	製本費	資料集 ^{※2}	¥100,000
日臨技助成金	※1	¥50,000	印刷費	会場費	東海学院大学 131教室 ^{※3}	¥0
ランチセッション申込	2社分	¥100,000	支払負担金	振込手数料		
				食卓費	お弁当代・お茶 ^{※4}	¥70,000
				消耗品費	文具	¥0
				諸謝金	講師等謝礼	¥16,000
					講師等旅費交通費	¥20,000
				通信運搬費	配送料	
					定形郵便	
				会議費 ^{※6}	当日運営8名	¥8,000
					旅費交通費	¥20,000
					食卓費	¥0
				学会運営	食卓費	¥0
					講師お茶菓子	
合計(A)		¥220,000	合計(B)			¥234,000

※2 ネット印刷を使用した場合

※3 無料の予定(交渉必要)

※4 1,000円×70個=70,000円(お茶付)、学生のお弁当は自己負担とする。

※5 岐臨技規定により、30分以上2,000円×8名

※6 準備会議は学術部門長会議とメール連絡のみ。

A-B= ¥-14,000 技師会事業費

5. 岐臨技 新人サポ一ト研修会

年1回 開催	月 日	場 所	研修内容	施設名・会社名	講師	点数	参加者
新人サポ一ト研修会	5月24日	東海学院大学					

6. 日臨技委託事業

日臨技中部圏支部研修会	月 日	場 所	研修内容	施設名・会社名	講師	点数	参加者
臨庄微生物部門	11月7日～11月8日	岐阜商工会議所					
臨庄血液部門	12月19日～12月20日	岐阜市十六分クラブサ					
臨庄生埋部門	12月6日～12月7日	岐阜大学サテライトキャンパス					

7. 後援・その他

名 称	月 日	場 所	内 容	担当病院	点数	参加者

8. 令和元年度日臨技 功労賞・学術奨励賞

病院名	部 門	氏 名	演題名	表彰名		

9. 令和元年度「医学検査」投稿論文

病院名	部 門	氏 名	演題名	号数		

10. 令和元年度「医学検査」投稿 岐臨技推薦論文

病院名	部 門	氏 名	演題名			

11. 岐阜県臨床検査技師会誌

病院名	部 門	氏 名	演題名			

Ⅲ. 臨床一般部門

一般検査 研究班研修会			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	6月14日	10時～16時	東海学院大学(仮)
第2回研修会	9月27日	13時30分～17時	岐阜市民病院
第3回研修会	3月7日	14時～16時	高山市
合 計			

Ⅳ. 臨床血液部門

血液検査 研究班研修会			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	5月		岐阜地区
第2回研修会	7月		中濃地区
第3回研修会	10月17日		名古屋リッパスエア(sysmax)
第4回研修会	1～2月		飛騨地区
合 計			

Ⅴ. 病理細胞部門

病理検査 研究班 細胞検査 合同研修会			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	4月頃	14:00-17:00	未定
第2回研修会	7月11日	12:00-17:00	名古屋大学医学部
第3回研修会	10月上旬	14:00-17:00	未定
第4回研修会	11月末	9:00-17:00	岐阜大学医学部附属病院
第5回研修会	2月下旬	14:00-17:00	未定
合 計			

Ⅵ. 臨床微生物部門

微生物・公衆衛生 研究班			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	5月下旬～6月上旬	午後	岐阜医療科学大学
第2回研修会	7月～8月	午後(2時間)	高山市内(久美愛病院を予定)
第3回研修会	9月下旬～10月上旬	午後(2時間)	大垣市内(大垣市民病院を予定)
第4回研修会	2月	午後(2時間)	多治見市内(県立多治見病院を予定)
合 計			

Ⅶ. 輸血細胞治療部門

輸血検査 研究班			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	4月～11月中		未定
第2回研修会	4月～11月中		未定
第3回研修会	4月～11月中		未定
第4回研修会	4月～11月中		未定
第5回研修会	12月～3月		未定
第6回研修会	12月～3月		未定
合 計			

Ⅷ. 遺伝子部門

遺伝子 研究班			
研修会名	月 日	時 間	場 所
第1回研修会	未定		未定
合 計			

Ⅸ. 検査総合部門

臨床検査総合 研究班			
研修会名	月 日	時 間	場 所
研修会名			
合 計			

講師謝礼等について(令和元年12月13日 理事会にて承認)

1. 講師料		単位円	
医師			30,000
病院長・教授(医師)			50,000
臨床検査技師以外(役職に関係なく)			10,000
他県の臨床検査技師(役職に関係なく)			10,000
県内の臨床検査技師			0
* 講師の資料代は講師料に含む			
県内の臨床検査技師講師時間	30分以下		1,000
	30分以上		2,000
	60分以上		3,000
* 資料代が必要な場合は領収書にて請求			
実習指導員	4時間以内		1,000
	4時間以上		2,000
* 目安として参加人数6名に対して1名指導員			
2. 参加費			
岐阜県会員			0
* 実習にて費用発生した場合は参加費(1000円以下)を検討			
岐阜県非会員	入会を勧める		2000
他県会員			300
他職種(医師・薬剤師等)			500
学生		無料	
賛助会員	1名まで		0
非賛助会員			2,000
共催メーカー・講師			0

基本:日臨技生涯教育推進研修会支援を申請する(令和2年より変更)

1研修会、定額3万円及び日臨技会員参加者1名あたり500円、

最高40名までを上限とし、参加者の募集に努める(最高50,000円)

1都道府県あたり年間20研修会まで日臨技より支援がある。(期限注意)

* 新人サポート・春期/秋期拡大研修会・精度管理報告会等を含む

部門長各位

① 講師料等について

中部圏6県の講師料等の規定を元に作成したものを理事会で承認されました。
次年度より講師料・実務員等の研修会予算の際に参考としてください。

② 学術部門収支比較について

今年度の学術部門研修の予算・決算・講師費用等を比較しました。
部員交通費・日当・消耗品・中部圏開催行事は含んでいません。
次年度の企画に生かしてもらえればと思います。

① の講師料等のルールにて次年度からは部門格差は軽減されるとおもわれます。
また、次年度予算からも各研修会に参加される会員に均等に技師会費が使用されると思われ
れます。

③ 理事会より

将来的な岐阜県臨床検査技師会会費（全国で一番高い会費）の削減へ向けて
学術部門は技師会活動として主要重要な活動で、各部門長・部門員が会員に向けて多くの企
画をされていることは引き続き継続をお願いします。

しかし、できるだけ経費節減にご理解とご協力をお願いします。

具体的には、テキストのホームページPDF配布・ネット印刷

テキスト印刷数の削減：自宅会員や不参加会員へはホームページPDF配布

垂れ幕・横断幕などの削減

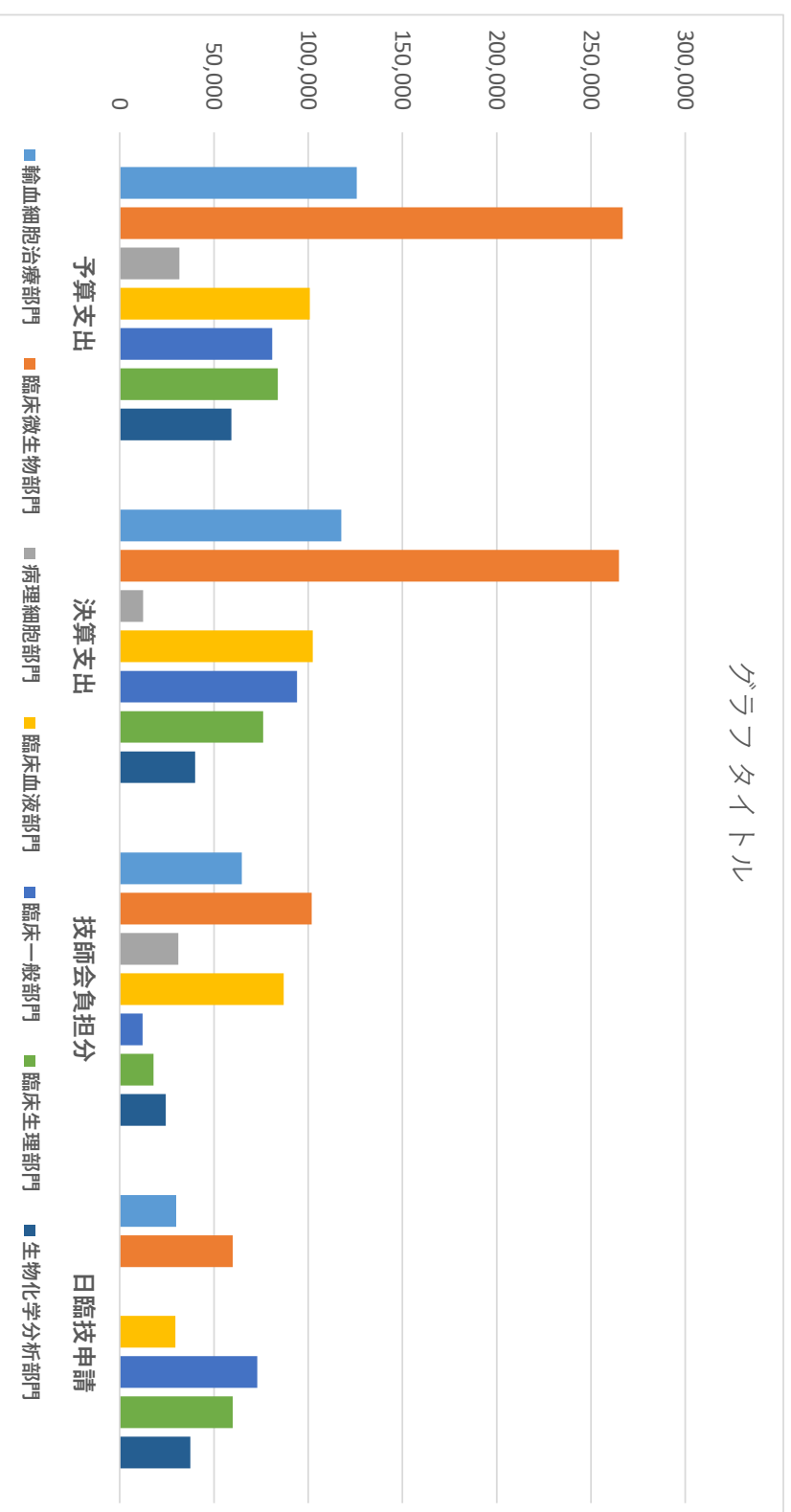
共同企画や開催のお知らせなどで参加人数増加にて日臨技助成金の増額など

軽減できることから少しずつ導入・切り替えを考慮して頂けますよう部門で検討をお願い
します。

副会長 森さゆり

	予算支出	平均参加人数	消耗品費	外部講師料	講師交通費	決算支出	技師会負担分	日臨技申請	総合計	予算差額
輸血細胞治療部門	125,700	17	59,529	0	0	117,489	64,789	30,000	94,789	30,911
臨床微生物部門	266,883	19	47,059	100,000	43,000	264,866	101,866	60,000	161,866	105,017
病理細胞部門	31,700	20	0	0	0	12,400	31,100	0	31,100	600
臨床血液部門	100,800	19	10,625	30,000	10,000	102,425	86,956	29,500	116,456	-15,656
臨床一般部門	80,960	27	24,380	20,000	28,000	94,040	12,100	73,000	85,100	-4,140
臨床生理部門	83,940	28	12,886	0	0	76,126	17,979	60,000	77,979	5,961
生物化学分析部門	59,280	26	0	0	0	40,000	24,400	37,500	61,900	-2,620

グラフタイトル



支部学術部門委員候補者届出書(都道府県技師会推薦)

提出日	令和 年 月 日	事務局処理欄
推薦者	印	
所属技師会	検査技師会	
推薦理由		事務局： 受付：令和 年 月 日 受付番号： No. 備考：

※ 太枠内には記入しないでください。

応募役職名	・支部学術部門員（担当部門： _____ ）		
候補者名	印	会員番号	
生年月日	年 月 日 （ 才）		
勤務先		役職等	
所在地	〒 _____		
電話番号		FAX	メール
選考要件	<input type="checkbox"/> 日臨技生涯教育研修制度修了者であること。（ _____ 年度修了） <input type="checkbox"/> 学会発表経験があること。 <input type="checkbox"/> 都道府県技師会での学術活動経験あること。		
	選考要件が満たされていることを確認し、□欄にチェックを記入してください。		
本人抱負	1) 2) 3)		

支部学術部門委員候補者届出書(支部推薦用)

提出日	令和 年 月 日	事務局処理欄
推薦者	印	事務局長（支部長） 印 受付：令和 年 月 日
所属技師会	検査技師会	
推薦理由		事務局： 受付：令和 年 月 日 受付番号： No. 備考：

※ 太枠内には記入しないでください。

応募役職名	・支部学術部長 ・支部学術部門長（担当部門： _____ ）		
候補者名	印	会員番号	
職業			
生年月日	年 月 日 （ 才 ）		
所属技師会	検査技師会	支部役職	
勤務先		役職等	
所在地	〒 _____		
電話番号		F A X	
		メール	
経歴	日臨技、都道府県技師会、その他公務など		
本人抱負	1) 2) 3)		

支部学術部門委員応募者学術業績等調書

応募役職名	・支部学術部長 ・支部学術部門長（担当部門： _____ ）		
候補者名	印	会 員 番 号	
勤務先			
専門領域	1) 2) 3)		
保有免許	1. 臨床検査技師 取得年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 2. その他免許 1) _____ 免許 取得年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 2) _____ 免許 取得年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		
学 位	1) 博士 取得年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 2) 修士 取得年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		
学術業績等	1. 学術業績 1) 論文発表（筆頭 _____ 編・共同 _____ 編） 2) 学会発表（筆頭 _____ 回・共同 _____ 回） 3) 著作（筆頭 _____ 著・共同 _____ 著）		
	※ 主たる論文・学会発表等を記入してください。		
	2. 日臨技生涯教育研修制度 ※修了を必須とします。 修了年度：平成 _____ 年度		
	3. その他学術業績		

その他) 会長より

部門長各位

① 新人サポート研修会について

コロナの感染がまだまだ懸念され、今後のイベントに影響を与えかねません。近々では、新人サポート研修会、春季拡大研修会です。

開催する方向で考えていますが、状況によっては時間短縮という選択もできます。来月の常務理事会（通常あるいは時間短縮で開催する予定）で協議いたしますが、皆様、柔軟に対応できるように準備をしておいてください。

（例：新人サポートで時間短縮となった場合、午後のみで開催で当日講演は一部の部門に絞る。残りの部門は資料での確認、もしくは後日での開催など・・・）

② 令和年度中部圏支部医学検査学会 開催県 富山より

支部シンポジウムの案内・依頼について

学術部門で、どのテーマを岐阜で受けることが可能か協議していただきたいです。添付資料を参照の上、回答をいただけると助かります。

※②については、4月の常務理事会での決定を予定しております。3月中に学術部長（渡邊先生）までご返信願います。

会長 浅野 敦

令和 2 年 3 月 16 日
(一社) 富山県臨床検査技師会
会 長 南部 重一

中部圏支部 各県会長 様

支部シンポジウムのご案内と協力依頼

令和 2 年度日臨技中部圏支部医学検査学会の支部シンポジウムについてご案内と依頼をさせていただきます。ご協力の程、宜しくお願いいたします。

- ☞ 「テーマ」と「ねらい」の確認をお願いします。
- ☞ 「ねらい」①~③カテゴリーの詳細を提示しています。中から 1 つ選択をお願いします。
(必ずしも合致させる必要はありません)
- ☞ “「タスク・シフト/シェアリング」とどう向き合うか” については日臨技からの講師依頼を進めています。
- ☞ 期限は 2020 年 4 月 24 日 (金) までメールで回答をお願いします。
- ☞ 各県の希望は随時報告します。都度調整致します。

支部シンポジウムに関する問い合わせ先

学会長	南部 重一 (厚生連高岡病院) nanbu01115@kouseiren-ta.co.jp
実行委員長	澤井 真史 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター) sawai@toyama-reha.or.jp
学術部長	油谷 智史 (高岡市民病院) glassmoon666@yahoo.co.jp

令和2年度日臨技中部圏支部医学検査学会

支部シンポジウム

テーマ

“繋がる”ための意識改革 ～臨床検査技師の未来のために～

「ねらい」

我が国が抱える少子高齢化と生産人口の減少などの問題は、すでに我々の医療現場にも人材不足、長時間労働などという形で影響が見え始め、医療業務の役割分担の見直しが喫緊の課題となっている。

昨年、厚生労働省による「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアリングの推進に関する検討会」が発足した。この改革は、医師の過酷な長時間労働を是正するものであり、医師の業務を幅広く医療関係職種に移管/共同化し、医師の労働時間短縮を図る事を目的とし、2024年4月から適用される医師の時間外労働規制に向けて進められている。

医師業務の移管/共同化は、我々臨床検査技師にとっては業務拡大に繋がる好機とも取れるが、法的な制約や慢性的なスタッフ不足、業務量増大、時間外勤務など様々な課題があり、ともすれば逆境にもなりかねない。

しかしながら、我々臨床検査技師が未来の医療現場でも医療の質の向上を保つ職種として信頼を維持する為には、これからの医療、医師の働き方改革に対してどのような意識改革が必要であるのか。改革に伴う多職種との繋がりをどのように深め新たなチーム医療に参画していくのか。検査室のみならず、医療施設として臨床検査技師会として新たに移管/共同化される業務も含め遂行へのプロセスを構築しなければならず、“今”からの我々の取り組みが非常に重要となる。

本シンポジウムにおいて、

- ① タスク・シフト/シェアリングへどう向き合うか
- ② 我々がこれまで行ってきた多職種との繋がりを業務拡大の成果と検証
- ③ 新時代に繋がる新たな領域での臨床検査技師像を見据えた取り組みについて考えてみたい。

① 「タスク・シフト/シェアリング」とどう向き合うか
①-1 「タスク・シフト/シェアリング」とどう向き合うか タスク・シフト/シェアリングについて、日臨技におけるこれまでの取り組み経過と基本的な考え方などを報告。若手技師には浸透していない可能性も鑑み、技師会としての提言を行う。
①-2 「タスク・シフト/シェアリング」現行制度下で実施可能な業務への取り組み 病理検査所見の下書き作成、輸血時の検査等の説明、心臓・血管カテーテル検査・治療での超音波や心電図などの検査機器操作など、現行制度変更なく実施できる業務の検証と導入について。
② 我々がこれまで行ってきた多職種との繋がりや業務拡大の成果と検証
②-1 病棟業務の普及へ向けて 病棟検査技師誕生の経緯、病棟検査技師導入のメリット、採血業務のみならず POCT 検査や心電図などを実施している業務について紹介。
②-2 臨床検査技師+α。Wライセンス保持者からの観点 臨床工学技士や看護師など、検査技師と別の職種のWライセンス取得者がチーム医療に与えるメリットを紹介。
②-3 ベッドサイド実践講習会での学び 各県で実施された講習会で得られた知識を実践でどう生かしているか。またはどう生かせるか。講習会参加者や県技師会からの発信。
②-4 検査説明と相談ができる検査技師を実践して（目指して） チーム医療、タスク・シフト/シェアリングの一環としても重要性を増す検査技師としての能力。医療の質を向上させるため、さらなるスキルアップを目指すにはどうしたらいいかを提案する。
②-5 医療安全管理チームとの融合 感染対策や医療機器安全対策など、様々な職種からなるチームと協力し、安全体制を構築するための取り組みについての報告。
③ 新時代に繋がる新たな領域での臨床検査技師像を見据えた取り組み
③-1 地域包括ケアシステムにおける臨床検査技師の役割 在宅医療に参入しての検査技師の役割を紹介してもらう。在宅での検査業務のみならず、POCT コーディネーター的な、医師や看護師などへの検査のエキスパートとして助言やデータ管理など。
③-2 新たな領域への模索 疼痛緩和チーム、骨折予防チームなど、他では珍しい活動を行っている施設からの報告や、タスク・シフト/シェアリング（法令改正が必要な業務）とされた項目をもとに新たな領域への可能性を探る。